

宮津市公共下水道使用料金の見直しについて ～「宮津市公共下水道使用料金等審議会」報告～

1 目的(諮問理由)

- 安全で快適な下水道サービスを、持続的・安定的に提供するため、平成29年3月に「宮津市下水道事業経営戦略」を策定し、経営基盤の強化に取り組んできた。
- 必要経費等の削減に努めているものの、今後の収益改善は期待できない現状であり、今後、施設更新等に必要な財源が大幅に不足することが懸念されることから、今後の公共下水道事業の健全な経営を図るため、公共下水道使用料金等の見直しについて、「宮津市公共下水道使用料金等審議会」を設置し諮問した。

2 経過

(1) 「宮津市公共下水道使用料金等審議会」の開催

- 第1回 令和4年5月26日 ・諮問 ・公共下水道の現況について
- 第2回 令和4年7月21日 ・今後の収支見通しに基づく使用料見直しの必要性の確認
・使用料の見直しに係る考え方について
- 第3回 令和4年10月5日 ・使用料の見直しに係る考え方について
- 第4回 令和4年11月18日 ・答申(案)について

(2) 事務局(市)からの主な説明内容

- 現在の公共下水道事業の経営状況と今後の収支計画(宮津市下水道事業経営戦略)
- 算定期間及び使用料水準の設定(平均改定率24～27%の収支見通しの提示)
- 使用料体系(基本料金と従量料金)の考え方及び改定率のシミュレーションを提示

(3) 審議会での主な意見

- 今のところは最低限の見直しでいいかもしれないが、今後大きな更新需要が見込まれる中で、世代間の公平性等、この先を見据えた料金設定が必要ではないか。
- 収支的に厳しいことは分かるが、公共的な観点では住みやすさや住みにくさは大きなテーマになる。他の市町とのバランスも考えていく必要がある。
- 財政が厳しい中ではあるが、再建団体になってほしくない。みんなで支えるところは支えていかないとだめだと思う。

3 答申

- 審議の内容を踏まえ、12月6日に答申(別紙)

4 今後の予定

- 令和5年3月定例会において、条例改正の上程を予定